

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	--
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
乳幼児及びその保護者			福岡県住宅供給公社「クラシオン二日市」の1室を賃貸し、常設の親子が集えるひろばを開設し、乳幼児をもつ親子が気軽に集い、相互の交流ができるよう場所を提供し、子育ての相談や子育て情報（チラシ等）を提供する。 【根拠法令】子ども・子育て支援法 【補助金】子ども・子育て支援交付金（地域3子育て支援拠点事業費補助金）（国1/3 県1/3 市1/3）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			子育て支援のひとつとして育児に悩んだり、相談するところもなく孤立している親に、子育ての方法を知らせたり、子育て仲間を作る機会を提供し、子育て不安の解消を図る。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
参加した親子の数（1日あたり）		組	6	6	20	0			20
相談件数		件	980	1,094	1,400	0			1,350
5. コスト									
事業費		計	千円	2,553	2,643				
		国	千円	848	881				
		県	千円	848	881				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0				
正職員人件費		千円	1,606	1,584	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,159	4,227	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>参加組数は変化なし、相談件数は微増している。 <原因>新型コロナウイルス感染症防止対策として、施設の閉館や利用人数を制限してサロン等を実施した。コロナ禍で相談希望母保護者が増加していることが原因。また、職員自ら積極的に声掛けを行ったことも増加要因。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和4年度から、本事業すべてを地域子育て支援センター事業に統合する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
少子化や核家族の進行、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下、親の孤独感、不安感が増大している。これらを解消するために常設の地域子育て支援拠点施設を平成24年6月に設置した。					令和4年度より「地域子育て支援センター事業」へ統合				